

社説

政界の進歩

政府は今度自由黨との提携に付き其條件として内閣二大臣の椅子を同黨に與へ黨員中より數名の局長知事を出し又人權問題に關しては全く自由黨の主義を採用す可しとの議を申出したるよし思ひ切たる條件にして一も二もなく同意と思ひきや黨議に於て断然拒絶しては政府の意外に出でたるものとらるる若しも政府が最初より斯る決心にて彼の進歩黨に對して同様の申出を爲したらんに過越の如き離縁騒ぎの風波もなかりて自由黨と合を見たるふとならん前に進歩黨の要求を過大なりとして排斥しながら自由黨に向ては斯る思ひ切たる條件提出とは恰も前妻には自ら愛憎をつかして之を放逐し更らに結納を厚くして第二の妻を迎へんとし今度は却て先方より拒絶せられたるもの如し尖策に相逢なければ其失策は姑く擱き事の全體を眺むれば政府が大臣の椅子を賭けて政黨の援助を求むるに至らし其事實は取りも直さず政界の進歩にして民論政治の實行のよき一課からざるを證するものと云ふ可し

思ひ廻せば明治十四四年の頃、國中に國會開設の議論甚だ盛にして頻りに其開設を促したれども政府は國會尙早の說にして容易に動かさず漸くの事にて廿三年を期して開設を約束したれども爾來政府の舉動を見れば約束の實行を數年の後に控へながら實際の方向は全く反對にして恰も政府の威力を以て天下の民論を壓服せんと試みたるは明白の事實なり今日より顧れば只驚くに堪へたる事のみにして當局者も今更ら赤面の外なかる可し例へば今度の提携談に大臣の椅子に迎へんとしたる星氏の如き當時に於ては紛れもなき亂臣賊子にして政府の爲めに捕はれて獄に繋かれ又は退去を命ぜられて放逐の身となりたるなど散々幸さ目に遭はせられたる其當人を歓迎して大臣の地位を授けんとしたるものは即ち威力以て民論を壓服せんと試みたる同じ政府にして當時の亂臣賊子と手を握り政府の席を分て與に事を共にす可しと云ふ其變化驚く可きに似たれども自今から時勢進歩の然らしむる所に於て實際驚くに足らず今頃は事の纏り妙ならずして其實を見るに及ばざりしかども今日の政界に政府政黨の提携は實際の必要にして今後政府が孰れの政黨と提携を約するも其條件は自今から今同様のものならざるを得ず必然の成行にふさわれば早晩實際に行はるゝものとらるる民論政治の到来にして得て間違なきのみか其到来の時機は案外速にして既に前途の春を認め得たるが如し冬より春に移る其間には自から嚴寒氷雪の變りあれども季節の推移は自然の順序にして今や既に冬の半を過ぎて春風春水の佳辰に接するものと決して遠からず昨今の紛紜は政海一時の波瀾のみ時勢の纏り所は甚だ明白にして既に民論政治の春を認め得たるものと云ふ可し我輩は此成行を見て政府の爲めにも喜ばず又政黨の爲めにも喜ばず只日本政治の上全體の進歩として之を祝せんとするものなり

電報

米加開會議の不結果

倫敦十一月十九日發
華聖頓府に於ける互惠條約會議及び海獸問題會議は共に不結果に終りたるを以て加奈陀總理大臣ローリーア氏は本國に歸れり

土國與國に答へん

同上

土耳其帝は頃地利の要求に對し盡く承諾を與ふべき旨命令せりと云ふ其内には與國人の計畫に係る東洋鐵道に對し土耳其の負へる二十五萬磅の債務を果すべしとの事あり

清廷露公使に謀る

北京十一月十九日午後五時三十分發
特派員發回廿日午後二時廿分本社著

獨逸軍艦の膠州灣を占領

したる事件に關して清國政府は露國公使カシニ一伯と密議する所ありたり

兩師團觀兵式

久留米十一月廿日午前高見特設員發
本日午前九時より久留米二十四旅團練兵場に於て第五第六兩師團の觀兵式を行ふ總指揮官は黒木西部都督にて山縣大將親兵士小松宮殿下及び外國武官も觀せり又十時より分列式を行ひ十一時三十分全くと終結せり

昨日の大阪期米

大阪十一月廿日午後特設
本日は上日米、期米は小往來にて場面は買人氣なれども直頃のことと何となく頭重し中物は和久伊賣退き須々木庄、田宗其他小口の買埋め(煎れ米)あり先物は小米、木地六、楠重、後藤義、井三等より弱氣筋(越伊筋)の賣りに向ひ小口は買薄切れり

昨日前場の大阪株式

大阪十一月廿日午前特設
前日引より下放れて寄付き益々不氣配なり小川平、加賀市、馬場、帶谷、汝久其他より賣棄きしと東京安直の入電を受け久氣崩れて買人怖氣附き引際に至り諸株とも新安直を現はし引跡氣配悪し(獨清間に起りし外交上の事件杯も多少氣構へしが如し)二三日前に加賀市買進みしは諸戸手筋の買注文なりとの噂又濱永に龜田電光の買注文ヲハラありとの噂あり

株式取引所の總會

大阪十一月二十日午後特設
當地の株式取引所にては來る廿八日臨時總會を開く議案は理事監査役各一名を増す事にて理事には川上左七郎氏當選の事なり

諸株式の下落

名古屋十一月廿日午後特設
昨今諸株とも續いて下落の傾あり明治銀行株は三十錢下落せり

北越鐵道開業の後報

今朝已に發着したる如く北越鐵道は沼垂三條(一ノ木戸)の双方より三回宛發車し沿道の各驛にては執事人等大に引立ちたり唯地方稅の負擔すべき道路の未だ出來ざるが爲め停車場への通行頗る不便なりと苦情を鳴すもの多し

名古屋の電氣鐵道

名古屋十一月廿日午前特設
當市の電氣鐵道は榮町通の工事に着手し來年一月より開業の事なり

知事不信任決議案出でんとす

山形十一月廿日午後特設
來る二十二日の縣會に宗像本縣知事不信任の決議案を提出すべき模様あり

縣會の休會

山形十一月廿日午後特設
昨日より開きたる本縣會は議案繁雜の爲に來る二十四日迄休會す

山形縣會

山形十一月廿日午後特設
本日より通常縣會を開き床次書記官開會の式辭を期設せり

進歩黨若手支部發會式

山形十一月二十日
本日午後より當地杜陵館に於て進歩黨若手支部發會式を行ふ

埼玉殉難紀念祭

浦和十一月廿日午後特設
本日當地に於て埼玉殉難紀念祭を舉行し川村第一師團長臨席せり

高等學校醫學部卒業式

長岡十一月廿日
本日第五高等學校醫學部卒業式を舉行す

玄海丸の最終航

長岡十一月廿日午後特設
玄海丸は明日天津への最終航として出帆の筈なり

野津大將と淺田少將

長岡十一月二十日
野津大將と淺田少將とは明日當地を經て歸京の筈なり

江本知事と時任知事

名古屋十一月廿日午後特設
江本新知事は明日若任の筈なり、時任知事は病氣の爲め赴任延期す

鴻雪爪氏

金澤十一月二十日午後特設
鴻雪爪氏は昨日當地に來れり

獨逸の膠州灣

占領詳報
一昨十九日北京發にて矢野公使より昨日其筋に述したる電報は左の如し
獨逸國艦隊の膠州灣占領に關し今日迄探知したる所左の如し
三艘の獨逸國軍艦は十一月十三日を以て膠州灣に到着し其司令官は翌十四日を以て水兵六百名を率ゐて上陸し清國司令官軍に對し其日午後三時より二十四時以内に女姑山山岳以外に退去す可く又其兵卒は各一艇の銃砲及び其所積品の外は之を携帶するを得ざる旨を命じ且つ若し此命に服従せざる時は敵軍と看做して直に發砲す可き旨を添附せり軍及び其軍隊は陣營を引渡し青島の後部に退却せり清國駐紮獨逸公使は十一月十八日を以て當地に到着せり

獨逸

獨逸國今回の對清運
し如くなるが昨日上陸
ば獨逸は其占領を確
同灣に派遣す可しと

獨逸

獨逸國今回の對清運
殺害されたるは本月
公使は楊子江沿岸を
は本月十八日即ち獨
したる形迹なく一任
軍に一片の申込書を
ば宣教師殺害事件に
するか獨逸より何か
や否や尙は未だ明瞭
價の舉に出でたるも
る際難なりと謂はざ
敵師殺害等の如き事
付さ凡そ二萬弗位の
清國政府も其邊の要
當局者の風に承知せ
突如として今回の如
にして列國外交家の
れども其舉動の大仕
の小ならざるを示す
單に賠償金のみを要
るを證して餘りある
る迄には豫め決する
公使が楊子江沿岸旅
に同港被泊の同國軍
身は直に北京へ向け
列に取掛らんとする
の突飛なるとは共に
しめたるも強ち無理

獨逸

獨逸が膠州灣を占領
其要求する所單に賠償
外交界の定評なると同
ざる事件として注目
獨逸の說に依れば獨
國と打合せたるには非
膠州灣の占領は或は永
す其故如何となれば
旅順大連灣は露國之
領す可しと申合せたる
領所たるにも拘はらず
もなる可ければなり
からずと雖も前敵の本
意向は二者必ず其一に

獨逸

獨逸が膠州灣を占領
其要求する所單に賠償
外交界の定評なると同
ざる事件として注目
獨逸の說に依れば獨
國と打合せたるには非
膠州灣の占領は或は永
す其故如何となれば
旅順大連灣は露國之
領す可しと申合せたる
領所たるにも拘はらず
もなる可ければなり
からずと雖も前敵の本
意向は二者必ず其一に

獨逸

獨逸が膠州灣を占領
其要求する所單に賠償
外交界の定評なると同
ざる事件として注目
獨逸の說に依れば獨
國と打合せたるには非
膠州灣の占領は或は永
す其故如何となれば
旅順大連灣は露國之
領す可しと申合せたる
領所たるにも拘はらず
もなる可ければなり
からずと雖も前敵の本
意向は二者必ず其一に

獨逸

獨逸が膠州灣を占領
其要求する所單に賠償
外交界の定評なると同
ざる事件として注目
獨逸の說に依れば獨
國と打合せたるには非
膠州灣の占領は或は永
す其故如何となれば
旅順大連灣は露國之
領す可しと申合せたる
領所たるにも拘はらず
もなる可ければなり
からずと雖も前敵の本
意向は二者必ず其一に

獨逸

獨逸が膠州灣を占領
其要求する所單に賠償
外交界の定評なると同
ざる事件として注目
獨逸の說に依れば獨
國と打合せたるには非
膠州灣の占領は或は永
す其故如何となれば
旅順大連灣は露國之
領す可しと申合せたる
領所たるにも拘はらず
もなる可ければなり
からずと雖も前敵の本
意向は二者必ず其一に